

11月26日（火）

本日は、TICにてベネッセ教育総合研究所の谷山和成所長による講義,国立教育政策研究所の齊藤泰雄先生（名誉研究員）による講義が行われました。



ベネッセ教育総合研究所谷山所長の講義は、日本のこどもを取り巻く状況・環境が近年の急速な技術革新や人口減少などが絡み合う要因によって予測不可能なレベルで変化していること,そうした行き先の見えない未来を背負っていく子どもたちに対して日本がどのような教育を行ってきたのか,あるいは行っていくのかなど,多角的な視点から現状を分析した内容でした。研修員にとってもイメージしやすい内容だったようで,自国との経済状況や価値観の違いを比較して議論していました。



国立教育政策研究所齊藤先生は,日本におけるジェンダーの平等の実現について講義されました。現時点,日本では高等教育においてわずかにジェンダーによる差があるもののほぼ改善されているが,それはもともとそうだったわけではなく,歴史的な懸命な改善によるものであることを説明されました。歴史的な変遷を丁寧に取り上げられ,研修員は世界的な視野での歴史的な背景を尋ねていました。

あるもののほぼ改善されているが,それはもともとそうだったわけではなく,歴史的な懸命な改善によるものであることを説明されました。歴史的な変遷を丁寧に取り上げられ,研修員は世界的な視野での歴史的な背景を尋ねていました。



リフレクションの時間では,研修員それぞれが自国の状況から、各国の現状を日本の事例と比較しながら議論しました。特に,ジェンダー格差のある過去と劇的に変化するであろう未来を同時に考えられた議論は意義のあるものとなりました。

